



塙保己一没後200周年

ふとうふくつひん

不撓不屈の人

塙保己一没後200周年記念企画「不撓不屈の人」。今回は、「塙保己一の生涯」第三話をお届けします。また、特別展示、夏休み特別イベントについてもご案内しています。

塙保己一の生涯

第三話 学問の道

先学から学ぶ

辰之助（保己一）は江戸へ出て当道座に入り千弥と称していたころ、雨富検校の配慮で百花庵萩原宗固（そうこ）に入門しました。雨富検校の隣家の旗本の松平乗尹（のりた）は保己一の才能をいち早く認め、何かと便宜を図ってくれたといえます。乗尹は同僚に「あの目の不自由な者の人となりを見れば、度量が大いに通常の人を超えている。もしも目が見えていれば法令を犯して、その身を滅ぼしてしまっただろう。目が見えないことは幸いではないか。あの者は後に必ず大きな仕事をなす者だ。だから今大切に

しているのだ。」と話したといひます。千弥は他にも多くの先生より色んなことを学びました。例えば、律令（法律など）は山岡妙阿（みよあ）から、神道は川島貴林（たかしげ）から、医学は品川の東禅寺（とうぜんじ）の僧侶孝首座（こうしゆざ）から学びました。

そして、十八歳の時に千弥は一座の才職（さいしやく）という位に就きました。衆分（しゆぶん）という位は座頭の最初の位でした。この時に名前を保木野一と変えています。保木野一の学力は高まり、その名が知られるようになりました。雨富検校との約束を果たしたのです。

保木野一が二十四歳のころには、師の萩原宗固より国学者賀茂真淵（かものまぶち）から学ぶよう勧められました。保木野一は勧めに従い、賀茂真淵の門に入り貴重な体験を積むことができました。

伊勢参り

雨富検校には、ただひとつ気掛かりなことがありました。それは保木野一の体が弱く病気がちだったことでした。

そこで、保木野一が二十一歳の時に、金五両を与えて、郷里の父親を呼んで一緒に伊勢参りをさせたのでした。この時代、体が弱い者が旅をするとき、体が弱く旅先で命を落とす者も多く、無事帰って来れば体力もついて丈夫になったことでしょう。保木野一は以後病気もしない丈夫な体になったといひます。



保己一の旅路

挿絵「少年塙保己一伝」大野武男著 国立国会図書館所蔵より転載

企画展

江戸時代に刷られた希少品 日本後紀・蛭蠅抄を公開

塙保己一の功績の一つに群書類従の編さんがあります。全国に散逸していた古典書籍が保己一の手によって収集されたことで、荻野吟子をはじめとする後世の偉人たちにも多大な影響を与えました。市では、保己一の出版事業の一つである「日本後紀」と「蛭蠅抄」を収蔵しています。版本は版木が残存している限り後世でもほぼ同様のものを刷ることができ、両資料は和学講談所で刷られたという歴史的にも大変価値のあるものです。



展示期間 7月21日(水)～12月26日(日)

会場 塙保己一記念館（アスパ）
ピアこだま内）

※月曜日休館（休日の場合は翌日）

★塙保己一記念館

☎72・6032

イベント

夏休み特別イベント ほきいちをさがそう！

塙保己一記念館に、保己一の座像がたくさん隠れています。みんなで探してみましよう。全部見つけられたら、記念品をプレゼントします。夏休みの思い出作りに、ぜひ塙保己一記念館へお越しください。

開催期間 7月21日(水)～8月31日(火)

会場 塙保己一記念館（アスパ）
ピアこだま内）

※月曜日休館（休日の場合は翌日）

対象 どなたでも

★塙保己一記念館

☎72・6032



座像はどこにあるかな？
探してみよう！



Pick Up

塙保己一記念館



塙保己一記念館では、塙保己一の遺品や関連資料などを展示しています。没後200周年に関連した特別展示やイベントも開催しています。

▷児玉町八幡山368（アスパこだま内）☎72-6032

開館時間

午前9時～午後4時30分

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）・年末年始

入館料 無料

▶<https://www.city.honjo.lg.jp/soshiki/kyoikuiinkai/bunkazai/tantoujouhou/exhibition/hanawa-hokiichi/index.html>



塙保己一没後200周年 特設サイト公開中



塙保己一没後200周年特設サイトでは、市内イベント情報、保己一ゆかりの文化財紹介などをお届けしています。

▶<https://www.city.honjo.lg.jp/soshiki/kyoikuiinkai/bunkazai/hanawahokiichi/index.html>

